



東京学芸大学附属高等学校
Tokyo Gakugei University Senior High School

第9回 授業実践研究会 【1to1・教育工学】

学校での課題を改善させる1to1～1to1実施2年目の総括とこれから～

「生徒も教師もワクワクする授業づくりを…」

「大人が真剣に教育を語り合える場を…」

この2つのテーマをスローガンに、現代の教育課題を共に学んだり、その改善に向けて議論をしたり、未来の教育について考える場をつくりました。

2022年6月15日 水 15:30～17:15

開催趣旨

本校では、1to1（1人1台デバイス）を開始して3年目を迎えました。今年度で全校生徒にデバイスが行き届きます。これまでの2年間の中で、学校内に存在するいくつかの課題を1to1によって改善・解決することができたと感じています。そこで、本研究会ではこれまでの実践を紹介するとともに、今後の本校の1to1の方向性についても提案したいと考えています。なお、本研究会は本校保護者に対して1to1の取組を紹介するために公開予定です（ただし、保護者からの発言などはありません）。

スケジュール

15:30～Zoomルーム立ち上げ

15:45～オンライン研究会開始

- ・本校の1to1全体の取組の紹介
- ・1to1を活かした実践紹介
- ・質疑応答

17:15 オンライン研究会終了

本校からの実践紹介

問いを見出す1to1

数学科における1to1を活かした
問いを見出す授業（数学科・佐藤亮太）

探究のサイクルを回す力をどのように育てるか。探究サイクルは一周回すために長い時間が必要であることが多く、探究サイクルを回して何かしら結論を得る体験はなかなかできない。1to1で配布した生徒のデバイスを活用して、問いを見出し実験検証しさらに問いを立て、探究サイクルを回す力を育てる数学科での実践を提案する。

観点別評価で1to1

理科・地学における1to1を活かした
カリキュラムづくり（理科・齋藤洋輔）

1to1で配布した生徒のデバイスや個別のスマホなどを活用してパフォーマンス課題をどのように実施し、観点別評価の場面をカリキュラムの中にどのように位置付けるのか、理科・地学基礎での実践を提案する。また、CBTなど、今後取り組んでいきたい課題についても議論したい。

学校生活で1to1

委員会・クラス活動等での1to1を
活かした取り組み
（保健体育科・生徒指導部・松川想）

1to1は、普段の学校生活における活用が活発になることで、より真価を発揮する。本テーマでは、委員会やクラス活動など、授業以外での1to1の活用事例を紹介し、タスクマネジメントなどより効果的な活用方法について議論したい。

参加申し込み・お問い合わせ

参加申し込みは、右のQRコードをご利用いただくか、本校HPの「研究・研修」のページから必要事項をご入力ください。



東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬4-1-5

TEL: 03-3421-5151 FAX: 03-3421-5152

HP: <http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp/>